



ポ 工 ム 部 門



①思いやり ②ふれあい ③たすけあい
を

テーマにしました。

小学校低学年の部

最優秀賞

ありがとう

ちとせ小学校 三年 佐々木 心優

ぼくが足をこっせつした時
ばあちゃん、
「あつつかれる。」と言いなながら
毎日3かいまでおんぶしてくれた。
学校では、友だちが
「だいじょうぶ？」と声かけてくれて、
ランドセルを持ってくれたり
給食のじゅんびもしてくれた。
先生たちは、車いすおしてくれたり、
おんぶをしてくれた。
うれしかったよ。

講評

こっせつはざんねなことだったけれど、ばあちゃんや友だち、先生など、まわりの人たちみんなにやさしくしてもらいましたね。心優さんの「ありがとう」というかんしゃの気もちが、文しようをおしてとてもよくつたわってきます。おせわしてくれた人たちにも心優さんのありがとうがつたわっていたと思います。

優秀賞

ふれあい

南小学校 二年 東 遼磨

ぼくがわらうとママもわらう
パパと手をつなぐと、
大きくてあったかい
お姉ちゃんは、ぼくのほっぺを
つんつんしたり
手のひらではさんでくる
やわらかくて
きもちいいっていう
ぼくもなんだか、
あったかいきもちになる
ふれあうっていいな
かぞくっていいな

講評

えがおをかえしてくれるママ、大きくてあったかい手をつないでくれるパパ、ほっぺをつんつんしたり手のひらではさんだりしてくるお姉ちゃん、かぞくのあたたかさをかんじます。ほんわかとしたこちよさでつまれているような気もちになりました。



じじへのげんきパワー

ちとせ小学校 一年 北^{きた}村^{むら}一^{かず}翔^と

「じじおべんとうほしいですか。」

「ほしいです。」

さあぼくのでばんだ。

フライパンにたまごをいれて

たまごやきをつくらます。

おべんとうばいじ

じじといっしょにしゅうかくしたおこめと

たまごやきをいれてできあがり。

「じじたんぼのおしごとがんばってね。」



じいじと店長のぼく

南小学校 二年 石^{いし}川^{かわ} 倫^{りん}太^た郎^{ろう}

じいじのおうちは くすりやさん

じいじのおうちに いるときは

ぼくが店長を まかされる

じいじは何でも知っている

きかいもくわしい 物知りはかせ

そんなじいじは 目がわるい

だからぼくは じいじの目になる

お店のあけしめ まかせてよ

次はもっと たすけられるように

はなれていても がんばるから

じいじも元気でまってるね



講評

「じじおべんとうほしいですか。」「ほしいです。」この会話がじじと一翔さんのすてきなかんけいをあらわしていると思います。ほしいですと言われてはりきる一翔さんのようすを、目をほそめて見ていたと思われるじじのうれしい気もちまでもが、伝わってくるようです。おべんとうの中のお米も、むねをはっていたかもしれませぬね。

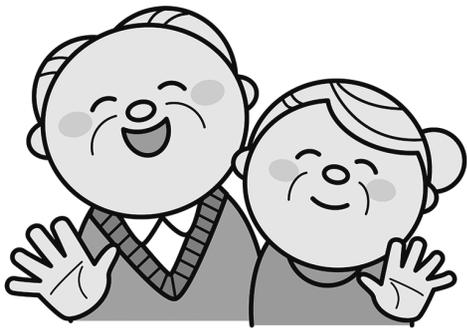




ずっとわすれないよ

三本木小学校 三年 福村華梨

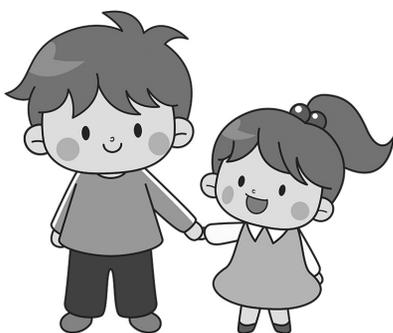
なんでもできちゃう
スーパーマンなじいちゃん
どんな時もわたしの味方のおばあちゃん
いっしょにわらったり遊んだり
けんかしたり：
でも二人はなかよくお空へいっちゃった
たくさんつたえたい
「ありがとう」の気持ちをこめて
毎日手をあわせるね
ずっと二人が大すきだよ
ありがとう



とうげこう

北園小学校 一年 工藤穂香

一ねんせいになったよ
まいにちのとうげこう
はじめてのみちはこわいけど
にいがてをつないでくれるから
がんばってあるけるよ
にいとおしゃべりできるから
わらってあるけるよ
にいとつないであるく
わたしのとうげこう
もうこわくないよ
たのしいよ
にいにいつもありがとう



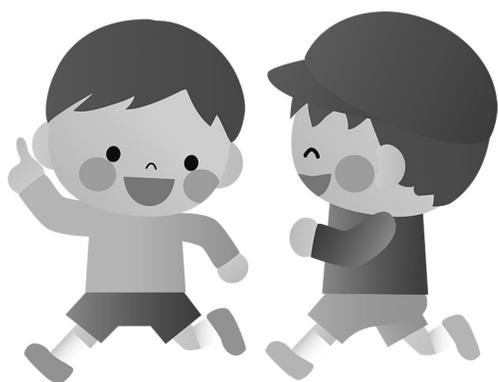


思いやり

大深内小学校 二年 立崎

中央

ぼくが すこしがまんするだけで
ともだちが えがおになるよ。
ともだちに 先にゆずると
また、えがおになる。
これが思いやりかな。



たすけあい

北園小学校 一年 中野陽太

ひとりだとむりなごと、
みんなできればできることもある。
みんなでやれば
たすけあい
ということばになる。
だからみんなのことを
だいじにすることがだいじ。

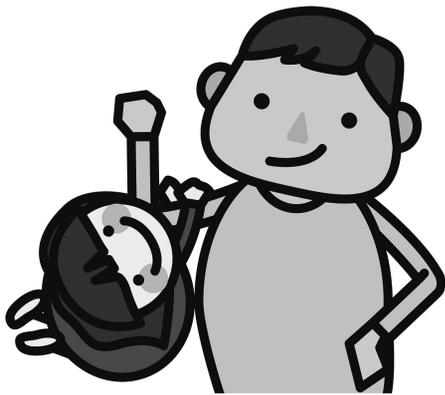


佳作

わたしのおとうさん

北園小学校 三年 太^{おお}田^た有^{あり}咲^さ

おとうさんは、いつも遊んでくれる
うんてい、てつぼう、かくれんぼ
ほかにもいろいろ遊んでくれる
わたしは、外でも中でもできる
かくれんぼが一番好き
おとうさんまたかくれんぼしよう



佳作

早く治してね

ちとせ小学校 二年 佐^さ々^さ木^き悠^ゆ来^ら

夏休みお兄ちゃんが
ケガをしてギプス生かつになった。
すこしのいどうもとても大へんそう。
妹も、ものをとったりたすけている。
お兄ちゃんはバスケが上手で
ぼくの目ひよう。
早くかっこいいプレーが見たいから
ぼくも家で色々てつだって
お兄ちゃんをたすけたいです。
早くなおしてね。



最優秀賞

六時はラジオ体操

北園小学校 五年 工藤 陽大

朝六時のラジオ体操

近所の介ご施設で 一週間続けた

おじいちゃんやおばあちゃんと

一緒に動く体操

早起するのは大変だったけど

みんなと体操した朝は ぼくの夏の思い出

おじいちゃん おばあちゃん

また体操しようね

体に気をつけてすごしてね

今度はもっとお話したいな

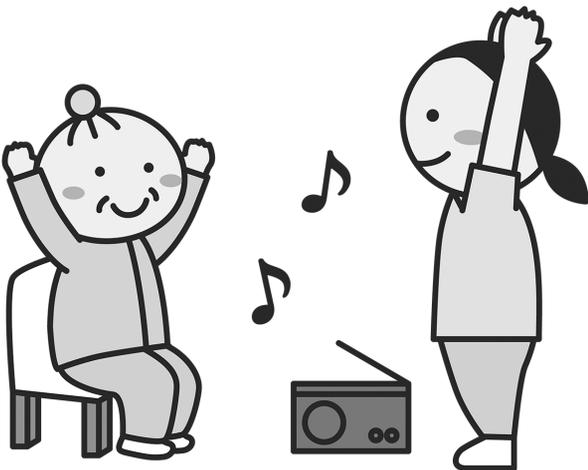
介ご施設行こうかな

ラジオ体操

気持ちよかったな

講評

いいですね！「ぼくの夏の思い出」陽大君の素直な表現が光っています。すがすがしい朝、おじいちゃんおばあちゃんたちと並んで、笑顔でラジオ体操している姿が目には浮かんできます。「体に気をつけてね。」「また体操しようね。」「やさしさと思いやりの心がまったことばですね。」



優 秀 賞

家族の中のマッサージ師

藤坂小学校 五年 小山田 夏那
おやまだ なな

夜ご飯を食べ終えて

ホッとした時

父が「肩を思いきり強くたたいて」と言った
日焼けして黒くなった首すじと肩

とてもかたい

家族の中でたいてあげる役目はいつも私

私の手は小さく細い手 だけど

「いいなあ

夏那のマッサージが一番気持ちいい」

と言ってくれる

これからも毎日のように

たくさんたたいてあげるよ

講 評

「家族の中のマッサージ師」題名がとても素敵ですね。小さく細い手で、かたい首すじと肩を一生懸命たたいている夏那さん。やさしくお父さん想いの心が伝わってきます。肩たたきってつかれるんですよ。「あと五分」「あと十回」とリクエストがあるんで大変ですよ。がんばれ！「家族の中のマッサージ師！」

優 秀 賞

いつもの朝：

西小学校 五年 向中野 叶聖
むかいなかの とあ

「おはよう」お母さんの元気な声

「おはよう」ばあちゃんの優しい声

「おはよう」じじいの声：

体調はどうかな：大丈夫かな：

お姉ちゃん お父さんみんなそろったよ

「行って来ます」

「はい 行ってらっしゃい」

家族みんなの声が こだました

いつもの朝：

あたり前なことじゃない

幸せなこと

今日も一日がはじまる

講 評

「おはよう」「おはよう」のあたり前のあいさつの中に、一日の始まりの「幸せ」を見つけた叶聖君、その感覚の鋭さに脱帽しました。お母さん、ばあちゃん、お父さん、お姉ちゃん、そしてぼく、みんな明るく元気な家族の一日の朝が目に見えるようです。



じじの米

三本木小学校 四年 橋本 啓

じじの米はとてもおいしい

家族みんなをささえてる

時々電話がくる 「米あるが」と

「そろそろなくなるよ」と言うと

真っ先にとどけにきてくれる

そのたきたてのご飯を食べて思う

ツヤツヤ ピカピカ ふっくら もちもち

「じじの米は日本一」

家族をつなぐ大事な大事な宝物



講評

「じじの米は日本一！」ウーン、食べてみたい！実はお米大好き人間なのです。「ツヤツヤ、ピカピカ、ふっくら、もちもち」思わずだれが出そうなすばらしい表現です。じじの米は、おいしさだけでなく家族をつなぐ日本一の米なんですよね。



ぼくの好きな歯医者さん

東小学校 五年 澤悠我

ぼくは、小さい時

歯医者さんがきらいだった

いたくてこわくてきんちようもして

いつも泣いていた

でも今の歯医者さんに出会って

先生が

いつもえがおでやさしくておもしろくて

ぼくは歯医者さんが好きになった

先生は

ぼくの歯も心（歯医者ぎらい）も

なおしてくれた

出会えてよかったありがとう





ぼくから始まる

助け合いのバトン

西小学校 六年 音道 岳

ぼくが君を助けると
君はきっと笑顔になる
君が誰かを助けると
その子もきっと笑顔になる

助け合いのバトン
つなげていって
明日もきっと
笑えるね



人種のちがいをこえて

西小学校 六年 里村 夏波

地球の反対側には どんなひとがすんでるの
肌の色が黒くても 白くても
みんな同じ地球の中で生きている

地球の反対側には どんなひとがすんでるの
食べ物 文化 服もちがう
それでもみんな同じ地球の中で生きている
戦争なんかしちゃだめだ
みんななかよし 世界は一つ





おばあちゃんと私

三本木小学校 六年 おおむら 大村 はる 暖乃

すくすくと背が伸びて

あっというまにおばあちゃんよりも
大きくなった十二才の私

「大きくなったねえ」と

おばあちゃんは笑うけど

私はおばあちゃんが

小さくなったように見えて

何だか切なくなる

今度は私がおいしいごはんを作るね

肩もみも少し上手になったよ

まだまだ元気で長生きしてね



夏休み

北園小学校 五年 あらやおう 新谷央士

テレビで高校野球の試合をみていた

必ず、どちらかが勝ってどちらかが負ける
いつもだと負けた方は

試合終わったらグラウンドから退場するけど

この試合は負けた方が

勝った方を先に見送ってから退場していた

勝ち負けがあっても

共に戦った相手への思いやりなのかなと

グツとした。





ぼくの妹と病気

南小学校 五年 古館 岳

ぼくは病気で四日間入院した。

毎日ベッドの上にいる、この四日間は
さみしくて、泣きたくて、つらかった。
妹が電話で

「お兄ちゃんさみしいよ。」

早く帰って来てね。」
と泣きながら言った。

ぼくは、早く元気になりたいと思った。

大好きで、大切な、

ぼくの妹。

これからも、もっと、たくさん、たくさん、
守ってあげるからね。



あなたの一つの行動が笑顔になる

西小学校 六年 泉 絢菜

思いやりの心は見えないけど

やさしい笑顔

あたたかい笑顔

最高の笑顔で

これからも

人にやさしく

いつまでも

思いやりの心

いつまでも

あなたの行動が

みんなの「笑顔」につながる



おはよう

西小学校 六年 小笠原 おがさわら 結 ゆい 翔 と

思いやり

思いやりは 行動で示す

思いやりは 行動じゃないと分からない

思いやりは 気付いたら相手を笑顔に

いじめ

いじめは 相手を見下す

いじめをしても

自分の気持ちはすっきりしない

いじめをしたら きらわれるよ

あなたはいじめと思いやり

どちらにしますか



勇気

西小学校 六年 里 さと 村 むら 陽 はる 斗 と

人の心や思いは見えないけれど

思いやりは見える

もし君が電車の席に座っているときに

足腰の悪いお年寄りが来たら

君はどうする

席をゆずれば 笑顔と感謝がもらえるよ

感謝されるのってうれしいよね

思いやりで笑顔を咲かせる

君の少しの勇気で

町をもっと笑顔に





私のおばあちゃん

ちとせ小学校 五年 田嶋心菜

私のおばあちゃんはやさしい。

好きな食べ物を食べさせてくれる、
せきなどでたら心配してくれる。

おばあちゃんが大好きだ。

私も手伝いをする。

ごはんを食べ終わった後

みんなのしよつきをさげるなどしている。

手伝いしたらおばあちゃんは、

「ありがとう」

と言ってくれた。

とてもうれしかった。

大変なことは、手伝いたい。



優 秀 賞

七十歳の祖母

三本木中学校 一年 寺 沢 賢 青

祖母は野球が好きだ

軽石で書いたバッターボックスに立ち
小さいころからよく一緒に野球をした

祖母は七十歳

七十歳？

元気すぎるうちの祖母

いつまでも元気でいてほしい

また一緒に野球しよう

講 評

「軽石で書いたバッターボックス」がいいですね。家の前のア
スファルトにでも書いたのでしょうか。これまでの二人の歩んで
きた道までもが見えるようで、微笑ましく思いました。今の七十
歳はまだまだ若く元気いっぱいな人が多いです。いつまでも二人
で一緒に野球ができますように。

優 秀 賞

送ろうか？

三本木中学校 一年 横 岡 佑 汰

ぼくの家で友達と遊んでいた。

気づいたら、夕方になっていた。

帰る時間だ。

「送ろうか？」

僕が言った。

「ありがとう。」

友達が言った。

おしゃべりしていたら友達の家にな
着いた。

今度は友達が言った。

「送ろうか？」

何回もくり返せる。

友達っていいな。

講 評

送って行って送られて、また送って…無限ループ？なんだかとても
楽しいですね。おしゃべりをしていたら家に着いちゃったとい
うような何でもない日常の出来事の積み重ねが、生きる力にな
るのではないかと思えます。遊んでいて、気がついたら夕方とい
うのも、後で振り返れば楽しい思い出になることでしょう。



大掃除

三本木中学校 一年 月^{つき} 足^{あし} 咲^さ 穂^ほ

今日はクラスで大掃除

みんなの助け合いで

心があたたかい

「手伝うよ。」

「大丈夫？一緒にやろう。」

こんな声が飛び交う

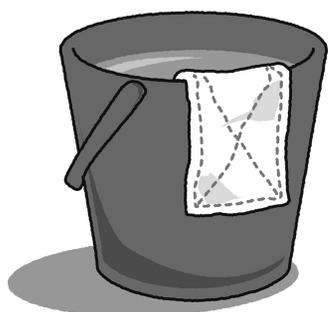
すごく居心地がいい

今度は私も

勇気を出して

「手伝うよ。」って

言ってみよう



カゼ

三本木中学校 二年 荒^あ 谷^や 咲^さ 良^ら

みぎにすわっている彼

ガラガラのだ ゲホゲホせき

ゴロゴロおなか ブルブルさむけ

クラクラあたま ズルズルはなみず

まえにすわっている人

「大丈夫？」

心配するこえ

ここにすわっている私

うわぎを着せて

くすりをあげて

声だけでなく 実際

実際に手を差し伸べて…

